

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
静岡市	静岡市	平成23年度～平成29年度	平成23年度～平成29年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成21年度)	目標 (割合※1) (平成30年度) A	実績 (割合※1) (平成30年度) B	実績/目標 ※2	
排出量	事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	
	1 事業所当たりの排出量	kg/事業所	kg/事業所 (%)	kg/事業所 (%)	
	家庭系 総排出量	191,281 t	153,747 t (-19.6%)	164,852 t (-13.8%)	70.4%
	1 人当たりの排出量	248 kg/人	201 kg/人 (-19.0%)	234 kg/人 (-5.6%)	29.5%
合 計 事業系家庭系総排出量合計	274,660 t	230,746 t (-16.0%)	233,395 t (-15.0%)	93.8%	
再生利用量	直接資源化量	13,550 t (4.9%)	14,396 t (6.2%)	13,347 t (5.7%)	61.5%
	総資源化量	47,746 t (17.4%)	62,298 t (27.0%)	40,315 t (17.3%)	-1.0%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	t (%)	t (%)	t (%)	
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	

※目標未達成の指標のみを記載

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成21年度)	目 標 (平成30年度) A	実 績 (平成30年度) B	実績/目標 ※3
総人口	人	人	人	
公共下水道	汚水衛生処理人口	470,168 人	533,754 人	528,027 人
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	(65.5%)	(77.4%)	(75.4%)
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	3,953 人	4,723 人	3,415 人
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	(0.6%)	(0.7%)	(0.5%)
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	58,763 人	40,619 人	56,431 人
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	(8.2%)	(5.9%)	(8.1%)
未処理人口	汚水衛生未処理人口	人	人	人

※目標未達成の指標のみを記載

2 目標が達成できなかった要因

【ごみ処理】

○排出量（家庭系）

イベントや出前講座等の啓発事業や、資源回収への奨励金事業を実施したことにより市民のごみ減量意識が向上し、ごみ量は減少傾向にあるが、目標として設定した数値ほどの効果が得られなかったことから、達成ができなかった。

○再生利用量（直接資源化量、総資源化量）

近年、民間による自主回収の活動が充実したことや、平成24年度末をもって行政による古紙・白色トレイ・紙パックの回収事業を廃止したことなどが要因となり、達成ができなかった。

【生活排水処理】

○生活排水処理については、想定よりも総人口が減少しなかったこと及び合併処理浄化槽から公共下水道への転換が少なかったことが考えられる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和5年度まで

【ごみ処理】

○食品ロスに焦点を当てた講座やチラシ等による啓発事業を実施し、生ごみの減量を図る。

○海洋プラスチック問題をテーマとしたイベントや講座を実施し、市民のプラスチックごみの発生抑制意識の向上を図る。

○チラシ等により、可燃ごみに混入しているペットボトル等の資源物の分別徹底を図る。

【生活排水処理】

○引き続き公共下水道の整備拡充及び合併処理浄化槽の設置を推進することにより、生活排水の適正処理の実施を目指す。

（都道府県知事の所見）

計画期間内に目標を達成できなかった項目については、上記の方策を着実に実施するとともに、更なる評価分析を行った上で目標達成に向けた努力を期待する。

また、家庭系ごみの排出量削減について、分別をどの様に徹底していくのか具体的な施策の実施を期待する。

県としても、改善計画が着実に実行されるよう必要に応じて情報提供や助言を行い支援していく。